

ドミー稲熊店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

店舗を建て替えることにより、店舗面積の減少。それに伴い、駐車場台数、駐輪台数の増、荷捌き施設及び廃棄物保管庫の容量を変更。（法附則第5条第1項）

届出事項

1	届出年月日		平成16年12月24日	
2	店舗名称		ドミー稲熊店	
	店舗所在地		岡崎市稲熊町字1-124-1ほか7筆	
3	変更をする日		平成17年8月25日	
4	届出事項	変更前	変更後	
(1)	設置者	名称	株式会社ドミー	同左
		代表者	代表取締役 梶川 志郎	
		住所	岡崎市大平町字八ッ幡1-1	
		備考	なし	
	小売業者	名称	株式会社ドミー	変更前に同じ
		代表者	代表取締役 梶川 志郎	同
		住所	岡崎市大平町字八ッ幡1-1	同
		備考	なし	なし
(2)	店舗面積	1,380 m ²	1,373.97 m ²	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり	縦覧による
		台数	89 台	90 台
	駐輪	位置	別紙図面のとおり	縦覧による
		台数	32 台	38 台
	荷捌	位置	別紙図面のとおり	縦覧による
		面積	54.8 m ²	98.78 m ²
	廃棄	位置	別紙図面のとおり	縦覧による
		容量	6 m ³	19 m ³
(4)	営業	開店時間	午前10時(年間103日午前9時30分)	変更前に同じ
		閉店時間	午後8時(年間90日午後9時)	同
	駐車場利用時間帯		午前9時45分(年間103日午前9時15分)から午後8時15分(年間90日午後9時15分)まで	同
	駐車場	出入口数	4箇所	同
		出入口位置	別紙図面のとおり	縦覧による
	荷捌	時間帯	午前8時から午後3時まで	変更前に同じ
業態	食料品専門店			
用途地域	準住居地域			
参考	昭和57年3月開店 平成3年改装			

I 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項	評価
(1) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要	
(2) 責任者の任命	店長を責任者として任命	
(3) 予測乖離時の措置	対策を検討の上、必要措置を実施	
(4) 通年の臨時措置	年末年始は交通整理員を配置	
(5) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置	

ドミー稲熊店

II 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 駐車場の必要台数の確保

ア 指針による算出

店舗面積	日來客数原単位	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車時間係数	指針必要台数
1,374 m ²	1058.7809	15.70%	2,000 m	75.00%	2.00 人	0.63	54 台

総駐車場台数	従業員等駐車場台数	付帯施設駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
90 台	0台	0台		90 台	

② 駐車場の位置及び構造等

1 平面自走オペレーター無	2 平面自走オペレーター有	3 機械式駐車場	4 共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
4箇所	0箇所	0箇所	0箇所	86 台

ア 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	18 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	なし	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	1箇所	市町村道	4m	2	-	-	一方通行	双方向	0m	-	-
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	1箇所	市町村道	8.3m	15	5m	-	一方通行	双方向	0m	-	-
警備員の配置		配備なし									

第2 駐車場	種別	1	収容台数	72 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	なし	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	1箇所	市町村道	4m	2	-	-	一方通行	双方向	0m	-	-
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	1箇所	市町村道	19.3m	67	-	-	双方向	一方通行	0m	-	-
警備員の配置		配備なし									

評価	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

③ 駐輪場の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗西側入口付近に1箇所、店舗南側に1箇所
駐輪場の収容台数	38 台
標準収容台数	37 台

位置評価	台数評価

④ 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	98.78m ²	有	20分	3台	3台	

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00~11:00	6台	16:00~17:00	11:00~12:00	無	無	
8:00~9:00	3台	16:00~17:00	11:00~12:00	無	無	

⑤ 経路の設定等

(1) 車両関係

ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
有	配置なし	非回避	非回避	有	無	有

ドミー稲熊店

イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
有	有	非配備

ウ 公共交通機関関係

駐車場の確保
確保

エ 市町村事業関係

パークアンドライド事業への協力
事業なし

評価

(2) 歩行者通行関係

通抜可能通路の保持	通行妨害施設	夜間照明の設置
配慮済	無	必要なし

評価

(3) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価

(4) 防災対策への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供
締結可能	締結可能

評価

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	63 m	無	来客車両	無	無	-
西方向	57 m	無	来客車両	無	無	-
南方向	0 m	10m	廃棄物収集作業	無	無	-
北方向	10 m	無	来客車両	無	無	-

遮音壁の悪影響	遮音壁設置なし
---------	---------

評価

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	特になし
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
荷捌施設機器選択面での配慮	運搬機器の整備、作業員の意識向上
放送設備使用面での配慮	屋外放送無し

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	既存住宅に影響が少ない場所に設置
給排気口からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	空調室外機	15	給排気口	変電施設	浄化槽	ポンプ	エンジン等
		冷却室外機	9	冷凍機械室		キュービクル	1		
変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス				
	自動車走行	○	荷捌アイドリング		後進警報ブザー	○			
衝撃騒音	荷降し音	○	台車走行						
	建物の構造(高さ)	鉄骨造 2 階建 (9.25m)							

ドミー稲熊店

ア 等価騒音レベル予測

	A(東)	C(西)	B(南)
用途地域	準住居地域	準住居地域	準住居地域
昼間基準値	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	42.9 dB	41.9 dB
	評価	○	○
県	夜間等価騒音レベル	20.2 dB	19.4 dB
	評価	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当

イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無			無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か			
上記A・Bの具体的内容			
	a(東)	b(南)	
用途地域	準住居地域	準住居地域	
基準値を5dB減ずる要因	なし	なし	
基準値	40dB	40dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	23.9dB	37.4dB
	評価	○	○
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-
	評価	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	特になし
衛生問題関係配慮	特になし

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	8.46 m ³	1日	0.44 t	0.10 t/m ³	4.40 m ³	変更なし	
空缶・空き瓶	5.27 m ³	7日	0.05 t	0.10 t/m ³	3.56 m ³	変更なし	
厨芥・その他	5.27 m ³	1日	0.38 t	0.15 t/m ³	2.56 m ³	変更なし	
合計	19.0 m ³	-	-	-	10.52 m ³	-	
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	有	空缶・空き瓶の回収箱設置	無
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	無
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

位置・構造	適正な分別の実施	
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控えます
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	無
	生ゴミ保管施設の気密性の確保	無

ドミー稲熊店

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	悪臭対策として汚水マスの洗浄を行う。

評価

(3) 街づくり等への配慮

風致地区	無	美観地区	無	建築協定	無	景観条例	無
具体的対応策	特になし						
街並みづくりへの協力	特になし						
照明等の配慮	看板、建物、駐車場を照らすよう調整し、設置します。						

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし